

【講師の先生による指導講評】

[元文部科学省初等中等教育局 主任視学官 元文教大学教授 嶋野 道弘先生]

- ・教室全体が落ち着いた雰囲気の中で、児童一人ひとりが地域への思いをもって学習に参加していた。
- ・地域について調べるだけでなく、「なぜそう思ったのか」「これからどうしたいのか」を振り返る時間を大切にすることで、児童一人ひとりの考えがより深まっていく
- ・友達と意見を聞き合いながら、自分の思いを言葉にする活動を重ねていくことが大切である。

【研究の様子】

○2学期の総合的な学習の時間では、「地域」と「SDGs」をテーマに、池上のまちについて学んだ。地域の方のお話や体験的な活動を通して、児童は、町のよさだけでなく、課題にも気づきながら学習を進めた。

話し合いの場面では、友達の考えを聞いて「なるほど」と受け止めたり、自分の考えを言葉にして伝えたりしていた。また、学んだことを生かして、「自分たちにできることは何だろう」と考え、行動につなげようとしていた。

こうした学習を通して、児童は、

- ・地域に関心をもち、大切にしようとする気持ち
- ・自分の考えをもち、友達と伝え合う力
- ・学んだことを生活や行動につなげようとする力を育んでいる。

来年度に向けて、児童が自から問いをもち、振り返りを通して考えを深めながら学べるよう、総合的な学習の時間をさらに充実させていきたい。

【研究授業の様子】

